

明治八年
大坂
錦馬
新聞
第二十号

不養生の好め人少ありとせむ。箕
 嚙く大酒と満欲あり。夫またひと説あり
 東京深川は、さよとらへる。燻のりなる。善助といふ者、媒約
 して、夜毎は四會の交入合をせき。證券とて、太兵衛
 と云ふ者の、嫁入せしが、太兵衛も三夜に勤、いと
 四目より手へ、降、衆を、さよへ、聞く、證書
 出、と諭せ、と東京新聞紙、よあり、い、馬鹿者
 不養生の好め、あまりの身、あまのや、て、のた、ひ、
 掃、不養生、て、貴重の命、を、り、者、少、ひ、
 慎、
 噫、

箕木主人述
二代目負信馬



新馬場

二八

